

令和8年 施政方針

図 経営企画課（千代田庁舎）

令和8年かすみがうら市議会第1回定例会で、市長が令和8年度の市政運営に対する施策概要を述べました。ここでは、今年度における新たな取り組みなどを紹介します。

夢と希望を持てる

「暮らし満足度

ナンバーワンのまち」

を目指して

市民の皆様が将来にわたって夢と希望を持てるまちづくりを実現するためには、既成概念にとらわれない大胆な発想の転換が必要です。「選択と集中」の視点から既存事業を厳格に精査するとともに、時代の変化に即した効果的な施策を展開していくことで、次代に誇れる新たな価値を創出していく決意です。

これからも市民の皆様を第一に考え、時代の変化を見据えた上で、長期的な視点に立ち、本市が持つ「水・緑・大地」の無限の可能性を最大限に引き出し、全国に誇れる「市民の暮らし満足度ナンバーワンのまち」を目指してまいります。

かすみがうら市長
宮嶋 謙



令和8年度

新たな取り組み

1 全ての子どもたちの 保育料を無償化



少子化対策として、これまで第2子以降で実施していた保育料の無償化について、第1子の0歳から2歳児にも拡充し、すべての子どもたちの保育料を無償化します。

4 高付加価値作物の 生産拡大



本市特産の高付加価値作物の生産拡大を図るため、既に実施している「かんしょ」に続き、新たに「栗」の作付け拡大支援事業を実施します。作付け面積の拡大と生産量の増加を図り、農業所得を向上させることで、経営の安定化と後継者不足の解消につなげます。

2 全ての児童生徒の 給食費の無償化を実施



子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境の整備として、これまで実施していた第2子以降の給食費の無償化を拡充し、小中義務教育学校における、すべての児童生徒の給食費の無償化を実施してまいります。



5 かすみがうら市宅地化 促進補助金を創設



市街地の有効活用の促進を通じて、定住人口の確保と地域の活力向上を図るため、新たに「かすみがうら市宅地化促進補助金」を創設し、良好な住宅地の整備につなげます。

3 有機農業の さらなる推進



学校給食におけるオーガニック米100%を目指し、新規で有機稲作栽培に取り組む生産者を確保するため、除草作業の負担を大幅に軽減するロボット導入を支援する制度を創設してまいります。

6 基幹相談支援センター を設置



センター開設研修会の様子
相談支援事業所や地域包括支援センター、地域の医療機関や学校などの施設と連携を図りながら、障がいのある方々やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるよう、基盤相談支援センターを設置し、支援に取り組みます。